

総合計画・行政評価制度について

総合計画とは ーまちの未来をともに描くためにー

将来を見すえた計画的なまちづくりが必要

- 市の最も基本的で総合的な計画
- 教育、福祉、産業、子育て、防災、環境、移住・定住など幅広い分野が含まれる



市政全体の設計図

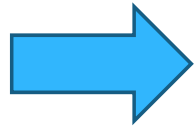
- ✓ まちづくりの主役は「市民」
- ✓ 計画は「行政だけのもの」ではない
- ✓ 「まちの未来をともにつくる」ための共有の目標

☞ 市の取組や予算の使い方に一貫性と方向性、将来に向けて持続可能なまちづくり

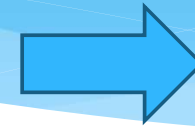
行政評価とは

—まちづくりの成果を見つめ直すしくみ—

評価の視点

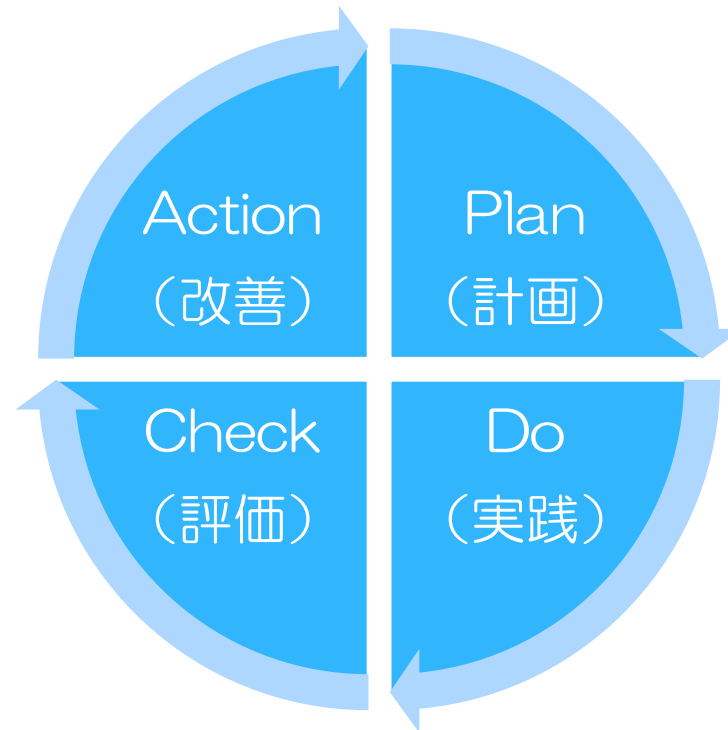


政策や事務・事業を
マネジメント



目的の達成

- ✓ 事業が予定通り
進んでいるか
- ✓ 期待した成果が
得られているか
- ✓ 無駄や重複が
ないか
- ✓ より効果的な
方法がないか



このサイクルを回して
いくことで、事業の質
を高め、市民のニーズ
に合ったまちづくりへ
とつなげます

行政評価における市民会議の役割

- 市の仕事の成果を確認し、課題点があれば改善に結び付けていくものとして外部の目で点検していくための会議です。
- ①市の説明は分かりやすく納得できるものか。
- ②市が行った内部評価の考え方や方法が適切であり、市民の考え方とかけ離れていないか。

政策評価及び日常の市民生活で思うこと、感じることを政策に反映